

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

【推計人口】12月

令和7年12月1日の推計人口	1,232,820人
世帯数	557,872世帯
(参考)	
R2.10.1現在国勢調査総人口	1,312,317人
世帯数	558,230世帯

1. 推計人口

令和7年12月1日現在の推計人口は1,232,820人で、前月(1,233,587人)に比べ△767人となった。

市部では、長崎市(△356)、佐世保市(△143)など、9市で減少した。

郡部では、佐々町(+15)、長与町(+11)など、5町で増加した。

自然動態は、出生数506人、死亡数1,469人で△963人、社会動態は、転入者数2,279人(県内転入を含む)、転出者2,083人(県内転出を含む)で、+196人となった。

2. 世帯数

令和7年12月1日現在の世帯数は、557,872世帯で前月(557,963)に比べ△91世帯となった。

(注) 異動人口推計=R2国勢調査確定数+住民基本台帳
(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】10月

1人当たり現金給与総額	275,014円
対前月比	0.6%増加
対前年同月比	3.9%増加
1. 賃金	

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみてみると、現金給与総額は275,014円で、前月に比べ0.6%増加し、前年同月に比べ3.9%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は274,208円で、前月に比べ1.5%増加し、前年同月に比べ5.8%増加した。

特別給与額は806円で、前年同月に比べ、4,738円減少した。

2. 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみてみると、総実労働時間は150.8時間で、前月に比べ5.9%増加し、前年同月に比べ0.3%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は140.3時間で前月に比べ5.8%増加し、前年同月に比べ、0.1%増加した。

所定外労働時間数は10.5時間で、前月に比べ7.2%増加し、前年同月に比べ5.4%減少した。

3. 雇用

10月の常用労働者数は220,182人で、前月に比べ0.4%減少し、前年同月に比べ0.9%減少した。

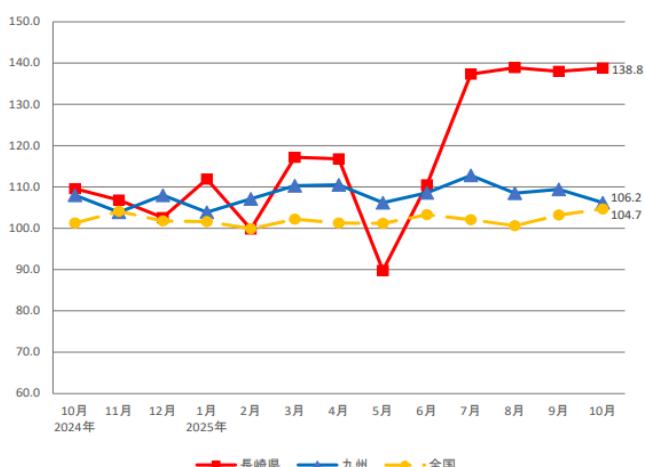
【鉱工業生産指数】10月

令和7年10月の鉱工業生産指数

(2020年=100)

区分	季節調整済指数	前月比(%)	原指数	前月同月比(%)
長崎県	138.8	0.6	137.7	24.7
九州	106.2	△3.2	114.6	△1.0
全国	104.7	1.5	108.9	1.6

鉱工業生産指数の推移（季節調整済指数）



2025年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が138.8で対前月比は0.6%の上昇、原指数は137.7で対前年同月比は24.7%の上昇となった。

業種別にみると、化学工業、はん用・生産用機械工業、情報通信機械工業など9業種が上昇し、電子部品・デバイス工業、繊維工業、窯業・土石製品工業など4業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
化学工業	339.0	-
はん用・生産用機械工業	97.5	ボイラー
情報通信機械工業	28.7	-

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	△24.4	半導体集積回路
繊維工業	△11.0	漁網・陸上網
窯業・土石製品工業	△4.4	和飲食器

上昇業種、低下業種は全業種13業種から選定している。
寄与した品目については、主要業種7業種のみ掲載している。
(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】11月

総合指数 (R2=100)

113.7

対前月比

0.4 %上昇

対前年同月比

3.4 %上昇

長崎市の消費者物価総合指数は、2020年（令和2年）を100として、113.7で前月比0.4%の上昇であった。

主な上昇要因は「光熱・水道」の3.7%上昇、「食料」の0.5%上昇であり、主な下落要因は、「交通・通信」の0.2%下落、「教養娯楽」の0.1%下落であった。

前年同月比は、7月は3.3%、8月は2.9%、9月は3.4%、10月は3.2%の上昇と推移した後、11月は3.4%の上昇であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は112.8で前月比0.4%の上昇であり、前年同月比は3.4%の上昇であった。

(前月との比較)

上昇した費目

光熱・水道	3.7 %
食料	0.5 %
諸雑費	0.4 %
保健医療	0.2 %

同水準の費目

被服及び履物	±0.0 %
住居	±0.0 %
教育	±0.0 %

下落した費目

家具・家事用品	△0.1 %
教養娯楽	△0.1 %
交通・通信	△0.2 %

※上記は、物価の寄与度が高い品目より順に上から記載している。

【家計（長崎市・勤労者世帯）】11月

消費支出（一世帯当たり）

299,104 円

前月比

51,451円減少 (△14.7%)

令和7年11月の長崎市・勤労者世帯（農林漁家世帯を含む）の消費支出は299,104円で、前月比14.7%の減少、前年同月比は7.5%の減少であった。

平均消費性向（可処分所得に占める消費支出の割合）は79.9%であった。

（注）”長崎市の勤労者世帯の家計の平均”と考えず参考値として利用ください。